土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一般国道433号道路災害防除事業に伴う測量設計業務委託(加計工区)
事業・工事名	一般国道433号道路災害防除事業に伴う測量設計業務委託(加計工区
調査目的及び調査対象	道路　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.6	調査位置	広島県山県郡安芸太田町加計	北緯	34° 36' 24.8000"
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和4年 4月11日～ 令和4年 4月19日	東経	132° 19' 27.1000"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 176.48m	角度	180° 上 90 下 0°	方向	0北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	11.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO型試錐機
				エンジン	ヤンマーTF-90M型
				ポンプ	BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	深度—N値図	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	175.03	1.45		礫混じり砂		淡茶灰	rd3		道路盛土である。中砂～粗砂を主体とし，φ20～40mm程度の亜角レキを混入する。比較的新鮮で硬質な玉石が短棒状で採取される。下層との地層境界より，掘削水は逸水する。	4/18 無し		29	1.15	2	10	17	29/300						4/11
2	174.18	2.30		玉石混じり砂礫		暗緑茶	rd5		礫は，φ10～20mm程度の亜角～角礫を主体としている。マトリックスは，細粒土～細砂で覆われている。比較的新鮮で硬質な玉石が短棒状で採取される。			50以上	1.45 2.15	2	48 50		50/150	150						
3				コンクリート		白灰	rd5		砕石および岩砕を粗骨材としたコンクリートである。コンクリートは比較的新瀬で硬質な状態である。	4/18 3.80		50以上	2.30 3.10	貫入不能			50/0	0					4/12
4	172.48	4.00										5	4.15	2	2	1	5/400							
5				礫混じり砂		暗茶	rd2		マサ土を主体としており，φ10～30mm程度の亜角～角礫が混入する。			3	4.55 5.15	1 150	1	1	3/350						4/13
6										4/18 6.40		4	5.50 6.15	2 150	1	1	4/350							
7	169.03	7.45							全体的に含水しており，貫入試料が落下するなど非常にルーズな状態となっている。			9	6.50 7.15	2	3	4	9/300							
8				花崗岩		淡灰黄			未固結層との地層境界付近ではやや風化が進行しているが（観察評価：DM～DH級），深度方向に岩質が向上している。（観察評価：CL級主体）			50以上	7.45 8.00	貫入不能			50/0	0					4/15
9									岩質は，比較的新鮮であるが亀裂が発達しており，岩片状・ブロック状～短棒状コアを主体とする。			50以上	9.00	貫入不能			50/0	0					
10												50以上	10.00	貫入不能			50/0	0					
11	165.48	11.00							亀裂沿いでは軟質な箇所が存在している。			50以上	11.00	貫入不能			50/0	0					4/18
12																								
13																								
14																								
15																								
16																								